



日野町の魅力、可能性 ～外部専門家に聞きました～

今年度、町では2名の外部専門家と1団体に、自治体DX（デジタル技術の活用による行政サービスの向上）の推進や地域活性化を見据えた空き家の利活用、地域の資金循環の仕組みづくりなどさまざまな取り組みについて助言をいただいています。

今回、日野町の魅力や可能性について伺いました。



自治体DXの推進
政策参与
東健二郎さん

ご縁あって、参与をさせて頂いています。この「ついでに頂いている」という語法は、司馬遼太郎がライフワークとした「街道をゆく」にその来歴が紹介されています。ご存知の方もいらっしゃるでしょう。日野町も含まれた「近江散歩」の章です。11月、コロナ禍のため2年ぶりの帰省となった岡山の実家で、20年前の学生時代に読んだ形跡のあるこの本に再会しました。中身を覚えていませんでしたが、その直

後、この原稿執筆依頼があり、ご縁を改めて感じた次第です。

日野町には、普段住む京都から4月以降12月までに約80回訪れました。司馬が「こわかに見たくなかった」日野町の「品のよさ」や「光のしずかさ」。これらを、伝聞ではなく、自分で体験できるのは大変幸せなことです。

参与の職務は「自治体DXへの対応と業務効率の改善」です。簡単に言えば、町の未来を創ることそのものであり、「街道をゆく」に書かれていない日野町を自分たちで見つけていくことです。一緒に見つけにいきましょ。



空き家の利活用
総務省地域力創造
アドバイザー
近藤威志さん

移住定住促進や関係人口創出による地域活性化を見据えた空き家の利活用を進めさせて頂いております。

全国でさまざまな取り組みに携わっていますが、空き家、少子高齢化、担い手不足など地域に課題があるということは、裏を返せばチャレンジできる余白が無数にあるという点だと思います。

4月から毎月お伺いしておりますが、お

会いする方々は皆、日野を愛し、「日野のために」と強い想いを持ち、自主的にそれぞれの活動をされていることに驚かされています。

私が何よりも大切にしていることは、「想いを持って」「知恵を絞って」「行動する」という3点セットのサイクルをとにかく数多く回すこと。「孤軍奮闘せず」得意不得意を持ち寄って役割分担をしてチームで取り組むことです。日野町には、想いを持って知恵を絞って行動をしている方がたくさんいます。私も単なるアドバイザーという立場を越えて、一緒に働くための仕事をしていきます。



地域の資金循環の
仕組みづくり
公益財団法人
東近江三方よし基金
理事 山口美知子さん

日野町の皆さん、はじめまして。本年度、地域の資金循環の仕組みづくりなどまちづくりのアドバイザー支援をさせて頂いております。

私はこの支援をきっかけに、日野町で活躍する熱い思いをお持ちの皆さんとお会いすることが出来ました。そんな方々から伺う日野町は、蒲生氏郷公が去ったあと活気を失ったまちを再生し、全国で活躍した日野商人の歴史や、地域の困りごとを地域で支え合う地域活動など、自らの暮らしを当事者として受け止めるまちだなと感じています。そして、その感覚は役場の中でお話を伺っても感じるものでした。

これから、気候変動や子どもの不登校など、地域が直面する課題がどんどん多様化していく時に、住民と行政がその思いを共有し、共に事に向き合えたら、どんな困難も乗り越えられるのではないかと期待しています。お金はそんな活動を支える道具です。日野商人が生まれたまちだからこそ、日野町らしい資金循環を生み出ましょ。



新たに登録有形文化財に やまくちかしち 旧山口嘉七家住宅



録されました。

町には、近江日野商人館や旧正野薬店などの国の登録有形文化財があり、このたび旧山口嘉七家住宅が新たに登録されました。今回、所有者の方にお話を伺いました。

国の登録有形文化財に

この建物は大窪2区に所在し、主屋は1821年に建築され200年が経過しています。主屋に加え、1822年に建築された北蔵と1879年に建築された東蔵の3棟が日野商人番頭の住宅として貴重で、歴史的景観に寄与していることから登

野への移住を決められました。住み始めた頃は、日野商人の家とも江戸時代に建てられたものとも全くご存知なかったそうです。家の中を整理されているなかで建物の歴史に関わる古文書を発見。以前の調査では明治時代の建物とされていましたが、この発見により江戸時代のものであることが明らかになりました。

日野商人のすばらしさ

所有者の方は「古い建物はほかに多くありますが、番頭が長く勤めれば家を与えられたという日野商人の歴史を物語っている建物であることに価値があり、大切にすべきものだと思います。従業員を大切にしている日野商人のすばらしさを感じます」と話されました。

※飢饉や不況の時に、商家が生活に困った人々を助けるために行った、本宅や社寺などの建築工事。

古文書から

歴史を解き明かす

所有者の方は日野の町並みや、たたずまいに、時代には流されない」といった気風を感じ、日

「三方よし」近江日野田舎体験」の受入家庭にもなっており、かまどなどを使って生徒たちと料理体験を楽しんでいるそうです。また今後は、インドネシアの民族楽器であるガムランや雅楽器に触れる機会を提供する場としても活用できたらと考えておられます。

11月25日(木)、統計功績者表彰伝達式が滋賀県庁で行われ、町の登録調査員2名が受賞されました。

「経済産業大臣表彰

構造統計調査功績者表彰」受賞

奥野の 時也さん(蓮花寺)

奥野さんは、平成15年から町の登録調査員として多くの統計調査に尽力されました。長年の経験を活かした、円滑な調査の実施や調査対象者への柔軟な対応、職務の誠実さが功績として認められ、今回の受賞となりました。

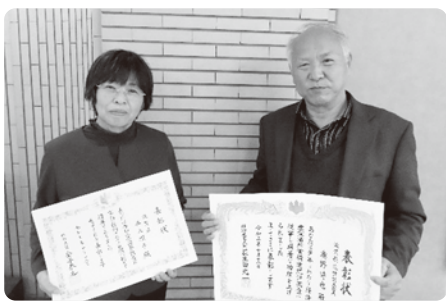
受賞おめでとうございます。

「総務大臣表彰

令和2年国勢調査功績者表彰」受賞

井上の 順子さん(原)

井上さんは、「令和2年国勢調査」において、自身の



井上順子さん(左)、奥野時也さん(右)

居住地域とは異なる地域の調査区での従事となりましたが、これまでの経験を活かし、地域の特性を把握したうえで調査対象者への丁寧な説明や円滑な調査の実施が功績として認められ、今回の受賞となりました。受賞おめでとうございます。